

女性のためのつながりサポート事業 【福岡市】

地域の実情と課題

【実情】

・本市における女性の正規職員・従業者は38.9%と低く、29.5%をパートが占めるなど、非正規就業者の割合が高い。(H29就業構造基本調査)

【課題】

・コロナ下で女性の就業者の多い非正規就業者、中でも宿泊、飲食サービス業等の就業者が多い福岡市においては、今後、その影響が懸念される。
・また、家事、育児、介護などの女性の負担増や、DV被害の増加についても懸念が広がっている。

目的・目標

【目的】

・NPO等を活用し、生活困窮、子育て、DV被害など、女性が直面する多様な課題を幅広く対象として女性支援策を実施することで、関係機関との連携のもと、困難や不安を抱える女性が社会との絆・つながりを回復し、一人で抱え込まず安心して生活することができるよう支援を行っていく。

【目標】

①相談者数 目標1,200人 → 実績250人
②居場所利用者数 目標 600人 → 実績 11人

事業の特徴

孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、アウトリーチ型の支援など、NPO等の知見を活用したきめ細かい支援を行う。

事業の効果

窓口開設が10月22日と遅れたため、相談者数は目標に到達できなかったが、月96件の相談があった月もあり、期を通じての他施策や他窓口の情報提供件数は57件となっていることから、一定程度支援につながったものと思われる。

事業の概要

コロナ下で困難や不安を抱える女性に対する相談機会や居場所の提供などの支援

- ◆相談窓口設置
(対面・電話・オンライン)
- ◆オンラインカウンセリング
- ◆生理用品などの提供
- ◆居場所の提供(対面・オンライン)



連携団体

福岡市社会福祉協議会(広報等)
福岡労働局(広報等)
各NPO法人(情報収集等)

など

今後の課題

利用しやすい相談窓口の運用、広報に努める。